

マニュアルの使い方

本製品には次のマニュアルが用意されています。

● **安心してお使いいただくために**
パソコンをお使いになるときに守っていただきたいこと

① **基本編...パソコンがはじめての人も、そうでない人も**
パソコンを使えるようにするまで (Windowsのセットアップ)
パソコン操作の基本
文字の入力
パソコン本体の機能

② **活用編...もっといろいろなことができる**
すぐに使えるソフトウェアの紹介
周辺機器を使うとき
システム構成の変更やパスワード

③ **困ったときは...わからなくなったら**
よくある質問とその解決方法
パソコンを購入時の状態に戻す (再セットアップ)

● **インターネットに接続しよう!...外の世界へ出てみよう**
インターネットに接続する方法

● **オンラインマニュアル**
すぐに使えるソフトウェアの紹介
こんなことがしたい
困ったときは
パソコン用語集 *本製品の電源を入れたときに見ることができます。

マニュアルは、本製品の使い方についてできるだけわかりやすく説明しています。すでにパソコンを使ったことのある方も、必ずお読みください。
お読みになった後も、いつでも取り出してご覧になれるよう、保管しておいてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用する上での注意事項などが記述されています。必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で、[スタート]メニュー-[はじめに]-[リリース情報]をクリックするとご覧になれます。



《 本書 》

もくじ

マニュアルの使い方	1
もくじ	2

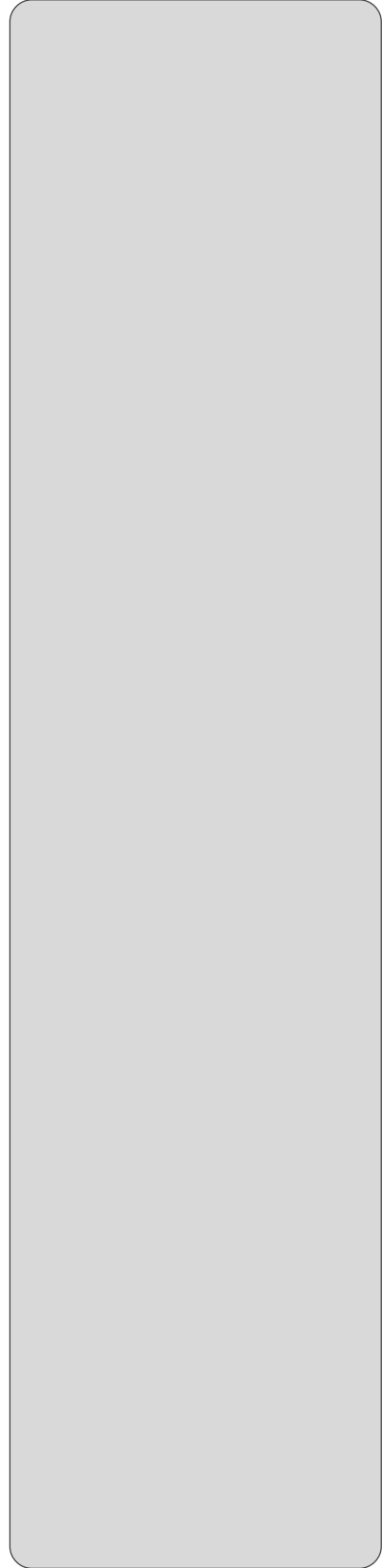
1 章 困ったときは

1 Q&A を見る前に	6
2 Q&A 集	8
1. 電源を入れるとき / 切るとき	8
電源が入らない / システムが起動しない	8
自動的にプログラムが実行される	10
電源が切れる	10
電源が切れない	11
電源が入ってしまう	11
2. 表示 / 画面について	12
画面に何も表示されない	12
画面が見にくい	13
表示自動停止機能が働かない	15
タスクバーの表示	15
ファイルが見つからない	16
3. アプリケーションについて	16
アプリケーションをインストール / 削除したい	16
アプリケーションが使えない	17
4. 印刷について	18
印刷ができない	18
5. キーボード・マウス・アキュポイント について	19
思うように文字が入力できない	19
マウスが使えない	21
6. 周辺機器について	23
フロッピーディスクについて	23
CD-ROM 装置 / CD-RW 装置 / DVD-ROM 装置について	25
PC カードについて	26
USB 機器について	28
7. 音量について	29
スピーカから音が聞こえない	29

8. インターネット/メール機能について	32
回線が繋がらない	32
Internet Explorer を使うとき	40
Outlook Express を使うとき	41
その他	44
9. 調子がおかしい!	47
テレビ、ラジオに障害が出る	47
ハイバネーション機能が使えない	47
パソコンの動作がおかしい	49
その他調子がおかしい	51
10. 不明なメッセージが出た!	52
11. 異常や故障の場合	54
3 東芝 PC サービス・サポートのご案内	55

2章 再セットアップ

1 再セットアップとは	58
1. 再セットアップが必要なとき	58
2. 再セットアップする前に	58
2 カスタム・リカバリ CD とは	59
3 標準システムを復元する	60
1. はじめる前に	60
2. 操作手順	60
4 最小構成でシステムを復元する	62
1. はじめる前に	62
2. 操作手順	62
5 アプリケーションを再インストールする	64
1. 操作手順	64



1 章

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	Q&A を見る前に	6
2	Q&A 集	8
3	東芝 PC サービス・サポートのご案内	55

1

Q&A を見る前に

本製品を操作していて、思ったようにパソコンが動作しなかったり、メッセージなどが表示され、何をしたらよいかわからなくなったときには、すぐに、故障だ！とあわてないで、本書およびほかの説明書をご覧になり、設定などを確かめてください。

また、トラブルがあった場合、ご自分で作成したデータが消失することがあります。バックアップを取っていないデータを復元することはできませんので、万一の事態に備えて、定期的にバックアップを取るようになしてください。

なお、Windows98 やプレインストールされているアプリケーションは、同梱されているカスタム・リカバリCDを使って、ご購入時の状態に戻すことができます。詳しくは第2章をご覧ください。

アプリケーションの操作方法がわからない！

『アプリケーションに付属の説明書』、
『アプリケーションのヘルプ』を見る

Windowsの操作方法がわからない！

『ファーストステップガイド』、
『Windowsのヘルプ』を見る

不明なメッセージが表示された！

表示されたメッセージを控え、
「本章 2 Q&A集-不明なメッセージが出た！」を見る



・バックアップ

不慮の事故でデータが消失する場合に備えて、データをコピーしておくこと。少数のファイルなどは、フロッピーディスクやMOディスクに保存する。



・『Windowsのヘルプ』の起動方法

● [スタート]-[ヘルプ]をクリックします。

コントロールパネルの開き方

設定の確認によく使う、[コントロールパネル]の開き方を説明します。

方法 1 - [スタート]メニューから開く

- 1 [スタート]ボタンをクリックする
- 2 [設定]にマウスポインタを合わせる
- 3 [コントロールパネル]をクリックする



方法 2 - [マイコンピュータ]から開く

- 1 デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックする
- 2 [コントロールパネル]アイコンをダブルクリックする



(表示例)

1. 電源を入れるとき / 切るとき


電源が入らない / システムが起動しない


 パソコンの電源が入らない


電源スイッチがロックされている
電源スイッチロックを解除し、再度電源スイッチを押してください。



電源スイッチを押す時間が短い
電源スイッチをしばらく押し続けてください。

 一度電源が入りかけるが、すぐに切れる


(Battery  LED がオレンジ色に点滅している場合)




バッテリーの充電量が少ない
次の操作を行なってください。

- ・本製品用の AC アダプタを接続する
他機種用の AC アダプタは使用できません。
- ・充電済みのバッテリーパックを取り付ける

 バッテリーについて ▶ 『基本編 5 章 3 バッテリー』

 一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

(DC IN  LED がオレンジ色に点滅している場合)



電源の接触が悪い
次の操作を行なってください。

- ・AC アダプタを抜き差しする
- ・バッテリーパックを抜き差しする
- ・リセットスイッチを押す



危険防止機能が働いた
次の操作を行なってください。

- ・パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待つ
パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は 5 ~ 35 度です。

以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。



・リセットスイッチは、先の細い、丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。

電源を入れたが、システムが起動しない

ハイバネーション機能による起動ができなくなった次の手順で、ハイバネーション機能によるパソコンの起動をせずに、システムを再起動してください。この場合、ハイバネーション機能によって保存されたデータは失われます。

 ハイバネーション機能 ▶『基本編 1章 3 作業を中断する』


電源を切る

[BackSpace]キーを押しながら、電源スイッチを押す次のメッセージが表示されます。

「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE.
PRESS ANY KEY TO CONTINUE.」

何かキーを押す

システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている
フロッピーディスクを取り出してから、パソコンを再起動してください。

 フロッピーディスクの取り出し
▶『基本編 5章 6-2 フロッピーディスクのセットと取り出し』


リセットスイッチを押してもハイバネーションの画面の後にシステムが停止してしまい、キー操作ができない


電源を切り、**[BackSpace]**キーを押しながら電源を入れてください。

「Windows が正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まる

前回パソコンを使用したときに、Windows の終了手順に従わずに電源を切った
スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windows 98 が起動します。正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。

自動的にプログラムが実行される

 Windows の起動と同時にプログラムが実行される

 [スタートアップ] に設定されたプログラムを削除する次の手順で削除してください。

[スタート]-[設定]-[タスクバーと[スタート]メニュー...]をクリックする

[タスクバーのプロパティ]画面が表示されます。

[[スタート]メニューの設定]タブで[削除]をクリックする

[ショートカットやフォルダの削除]画面が表示されます。

[スタートアップ]をダブルクリックする

[スタートアップ]の下にアイコンが表示されます。


削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除]ボタンをクリックする

プログラムが[スタートアップ]から削除されます。

[ショートカットやフォルダの削除]画面で[閉じる]ボタンをクリックする

[タスクバーのプロパティ]画面で[OK]ボタンをクリックする

電源が切れる

 パソコン使用中に電源が切れる

危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。

パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は5～35℃です。

温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

警告音が鳴り、Battery LED が消灯した

バッテリーの充電量が少なくなった
次の操作を行なってください。

- ・ AC アダプタを接続する
- ・ 充電済みのバッテリーパックを取り付ける



バッテリーパックの取り付けについて

▶ 『基本編 5 章 3-3 バッテリーパックを交換する』

電源が切れない

電源スイッチを押しても電源が切れず、「ピッピッ...」と音が鳴り続ける

次の操作を行なってください。

- ・ 電源スイッチを 5 秒以上押す
- ・ リセットスイッチを押す
- ・ AC アダプタ バッテリーパックの順に取りはずし、再度、
バッテリーパック AC アダプタの順に取り付ける

電源が入ってしまう

自動的に電源が入ってしまう

Windows のタスクスケジューラが設定されている
次の手順でタスクスケジューラの設定を確認し、設定されて
いるプログラムを削除してください。

[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システム
ツール] - [タスク] をクリックする

表示された画面で設定されているプログラムを削除する

パネルスイッチ機能が設定されている
ディスプレイを閉じると電源が切れる、あるいは作業を中断
し、開けると電源が入るように設定されています。設定を解
除してください。

[コントロールパネル] を開き、[省電力] をダブルクリッ
クする

[電源設定] タブで設定する省電力モードをクリックし、
[詳細] ボタンをクリックする

[動作] タブで [コンピュータを閉じたとき] の設定を [何
もしない] にする

[OK] ボタンをクリックする

2. 表示 / 画面について

画面に何も表示されない



画面に何も表示されない

(Power LED が点灯していない、またはオレンジ点灯している場合)



電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっている電源スイッチを押してください。

スタンバイ機能について ▶『基本編 1 章 3 作業を中断する』



画面に何も表示されない

(Power LED が点灯している場合)



表示自動停止機能が働いた次の操作を行なってください。

- ・ (Shift) キーや (Ctrl) キーを押す
- ・ マウスやアキュポイント を動かす



インスタントセキュリティ (表示自動停止) 機能が働いた次の操作を行なってください。

- ・ パスワードを設定していない場合
(Enter) キーまたは (F1) キーを押す
- ・ パスワードを設定している場合
パスワードを入力し、(Enter) キーを押す

パスワード ▶『活用編 4 章 3 パスワードについて』



表示装置が外部 CRT に設定されている次の操作を行なってください。

- ・ (Fn) + (F5) キーを押して表示装置を切り替える

詳細について

▶『活用編 3 章 8-CRT ディスプレイを接続する』



テレビに正常に表示されない



CRT ディスプレイと同時に接続しているパソコン本体から CRT ディスプレイをはずしてください。



・ CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあります。故障ではありません。



・ パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。

・ パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。

画面が見にくい



画面が見にくい



ディスプレイを見やすい角度に変える



コントラストダイヤルで調整する（DSTN モデルの場合）



画面が暗い



画面の輝度が低く設定されている
次の手順で設定を変更してください。

方法 1 - 省電力ユーティリティで変更する

[コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする

[電源設定] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする

[省電力] タブで [モニタの輝度] を設定する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

方法 2 - (Fn) キーを使用する

(Fn) + (Esc) キーを押す

設定されている輝度の値が反転表示されます。

(Fn) キーを押したまま (Esc) キーを押し直す

(Esc) キーを押すたびに輝度の値が切り替わります。

(Fn) キーを離す

手順 で表示された輝度に切り替わります。



サイドライト用の冷陰極管が消耗している
お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。



画面の外に黒い枠が表示される



低い解像度で設定されている
次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[画面] をダブルクリックする

[設定] タブの [画面の領域] で領域サイズを変更する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする



・ディスプレイに取りつけられているサイドライト用の FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。

色が汚い



少ない色数で設定されている
次の手順で設定を変更してください。

- [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
- [設定]タブで[色]を[High Color]や[True Color]に変更する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする

画面の領域や色を変更できない



[ディスプレイ]の設定があっていない
次の手順で設定を変更してください。

- [コントロールパネル]を開き [システム]をダブルクリックする
- [デバイスマネージャ]タブで[ディスプレイ]が正しく設定されているか確認する
- [適用]ボタンをクリックする
- [OK]ボタンをクリックする

CRTディスプレイで画面の色がにじんだように表示される



ほかの電気製品の影響を受けている
テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざけてください。



・解像度によっては[High Color]や[True Color]に設定できません。



・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。

表示自動停止機能が働かない



画面の表示自動停止を設定しても自動オフしない



MS-DOS プロンプトがアクティブになっている
次の操作を行なってください。

- ・ MS-DOS プロンプトを終了する
- ・ MS-DOS プロンプトを最小化する

タスクバーの表示



スタートボタン / タスクバーが表示されない



タスクバーの高さを低く設定している
次の手順で調節してください。

- マウスポインタを画面下に移動する
- マウスポインタの形状が上下 (↓) の矢印に変わったら、マウスを上下方向にドラッグする
- 適度な位置でマウスの左ボタンを離す



タスクバーが [自動的に隠す] という設定になっている
次の手順で設定を変更してください。

- マウスポインタをタスクバー上に移動し、右クリックする
- 表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする
- [タスクバーのプロパティ] が表示されます。
- [自動的に隠す] のチェック () をはずす
- [適用] ボタンをクリックする
- [OK] ボタンをクリックする



使用していたウィンドウが見えなくなった



ほかのウィンドウの下に隠れている
タスクバーに表示されている、使用していたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。
他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっていた場合は、一番手前に表示されます。

ファイルが見つからない

ファイルを保存した場所がわからない




[検索] 機能を使って検索する

次の手順で検索してください。

[スタート] - [検索] - [ファイルやフォルダ] をクリックする

[名前と場所] タブで [名前] 欄に探したいファイルの名前を入力する

[探す場所] の  をクリックし、一覧から検索する場所をクリックして選択する

[検索開始] ボタンをクリックする

ファイルの検索が始まり、しばらくすると検索結果が表示されます。

目的のファイルが表示されたら、ファイル名をダブルクリックして開く

目的のファイルが検索されなかった場合は、ファイル名や探す場所など条件を変更して再度検索してください。

3. アプリケーションについて

アプリケーションの使い方については、『アプリケーションに付属の説明書』、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

アプリケーションをインストール/削除したい

アプリケーションをインストールしたい



『活用編 2章 2 アプリケーションを追加する』をご覧ください。

使わないアプリケーションを削除したい




『活用編 2章 3 アプリケーションを削除する』をご覧ください。

あらかじめインストールされていたアプリケーションを削除してしまった

「アプリケーション&ドライバCD-ROM」から再インストールする

本製品にあらかじめインストールされているアプリケーションやドライバは、一度削除しても「アプリケーション&ドライバCD-ROM」を使用して再インストールできます。

 再インストールについて

▶ 「2章 5 アプリケーションを再インストールする」

アプリケーションが使えない

アプリケーションが使えない

正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。

メモリが足りない

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

 メモリの増設 ▶ 『活用編 3章 7 メモリを増設する』

システム構成を変更していない

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。

4. 印刷について

印刷ができない

印刷ができない



プリンタの電源が入っていない

- ・パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直す
- ・接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていない
正しく接続し直してください。



接続しているプリンタと違うプリンタを設定している次の手順で設定を確認してください。

- [スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックする
- 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
- 表示されるメニューの「通常使うプリンタに設定」をクリックしてチェック () をつける

最後まで正しく印刷できない



ECP に対応していないプリンタを使用している次の手順で設定を変更してください。

- [コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする
- [Parallel/Printer] タブで [Parallel Port Mode] を [Standard Bi-directional] に設定する
- [適用] ボタンをクリックする
- [OK] ボタンをクリックする



プリンタドライバを更新する

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。また、Windows Update を行うと最新のドライバをダウンロードし、ドライバを更新できる場合があります。Windows Update は [スタート]-[Windows Update] をクリックして行ってください。

上記のすべてを行っても印刷できない



Windows を終了し、パソコンを再起動する

前述のどれを行っても印刷できない




プリンタのセルフテストを実行する



5. キーボード・マウス・アキュポイント について



思うように文字が入力できない


 キーボードのキーを押しても文字が表示されない





 システムが処理中である


マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

 半角の「」(チルダ)が入力できない

 (Shift) +  キーを押す




または、「による」と入力して(Space)キーを押す


 キーボードの印刷どおりに「」、「」、「」などの文字が入力できない


 本製品で使用しているOADG規格のキーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。

詳しくは、『お使いの日本語入力システムに付属の説明書』をご覧ください。

なお、本製品に標準で用意されているMS-IMEでは、次の読みで入力すると変換できます。


- ・ 「ぼんど」または「たんい」
- ・ 「せんと」または「たんい」
- ・ 「おなじ」または「たんい」

 キーを押しても希望の文字が入力できない


 文字ロックの状態が合っていない

キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。

(Shift) + (CapsLock英数)キーや、(Fn) + (F11)キー、(Fn) + (F10)キー、(Ctrl) + (CapsLock英数)キーを使って、文字ロックの状態を合わせてから入力してください。

 詳細について ▶ 『基本編 5章 4 キーボード』

キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう

 キーボードドライバが正しく設定されていない
次の手順で設定を変更してください。


[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ]タブで[キーボード]を[106日本語(A01)キーボード(Ctrl + 英数)]に設定する


[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

[Alt] + [半/全] キーを押しても、漢字モードにならない

 日本語入力システムがインストールされていない
日本語入力システムをインストールしてください。

どのキーを押しても、反応しない 設定は合っているが、希望の文字が入力できない

 次の操作を行なってください。

- ・電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す
- ・リセットスイッチを押す

マウスが使えない



アキュポイント やマウスを動かしても画面のマウスポインタが動かない(反応しない)



システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



ダブルクリックがうまくできない



マウスのクリック速度を調節する

[コントロールパネル]を開き、[マウス]をダブルクリックする

[ボタン]タブで[オプション]ボタンをクリックする

[クリック/選択]タブで[ダブルクリックのタイミング]を変更する



マウスポインタの動きが遅い/速い



マウスポインタの速度を調整する

次の手順でマウスポインタの速度を調整してください。

[コントロールパネル]を開き、[マウス]をダブルクリックする

[動作]タブで[カーソルの速度と加速]を変更する



PS/2 マウスが使えない



パソコン本体の電源を入れたまま接続した

次の操作を行なってください。

- ・マウスを接続した状態で、電源を入れ直す
- ・パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、再度パソコン本体の電源を入れる



新しいハードウェアとして認識されていない

次の手順でハードウェアウィザードを実行してください。

[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする

[次へ]ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。

アキュポイント とマウス（ロジクール以外）が同時に使用できない



「Logitech マウスウェア」をアンインストールする本製品には、「Logitech マウスウェア」がプレインストールされています。

ロジクール以外のマウスをご使用になると、マウスが正常に動作しないことがあります。

その場合は、次の手順で Logitech マウスウェアをアンインストールしてください。

[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックする

[インストールと削除]タブでソフトウェアの一覧から[マウスウェア]をクリックして選ぶ

[追加と削除]ボタンをクリックする

アンインストールを開始します。

アンインストールが終了すると、[再起動しますか?]のメッセージが表示されます。

[はい]ボタンをクリックする

再起動します。

ご使用のマウスに付属のマウスウェアをインストールする

[マウスウェアのインストール](#) 『マウスに付属の説明書』

アキュポイント と PS/2 マウスが同時に使用できない



[Toshiba Hardware Setup] の設定が合っていない次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする

[Pointing Devices] タブで [Pointing Devices] を [Simultaneous] に設定する

[適用]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

シリアルマウスが使えない



シリアルマウスが認識されていない

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。接続後、パソコン本体の電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。



・ホイール付きマウスの場合、正常に動作しないことがあります。

6. 周辺機器について

周辺機器については『活用編 3章 周辺機器を使おう』もあわせてご覧ください。


フロッピーディスクについて

フロッピーディスクに書き込み（データの保存）ができない



フォーマットされていない


フォーマットされていないフロッピーディスクには、書き込み（データの保存）ができません。フォーマットを行なってください。フォーマット可能な形式は2DDの場合720KB、2HDの場合1.44MBのみになります。

 フォーマット

- ▶ 『基本編 5章 6-3 フロッピーディスクを使う前に-フォーマットとは』



フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっているフロッピーディスクを書き込み可能状態にしてください。

 書き込み禁止/可能状態について

- ▶ 『基本編 5章 6-1 フロッピーディスク』



フロッピーディスクの空き容量が少ない次の操作を行なってください。

- ・ 不要なファイルを削除して、やり直す
- ・ 別のフロッピーディスクを使用する

「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された



新しいフォルダを作って、そこにファイルを作成する作成できるファイル数には制限があります。

 フォルダの作成方法

- ▶ 『基本編 2章 4 ファイルやフォルダを作ってみよう』

ファイルが開けない (読み込みエラーやディスクエラーが表示される)



フロッピーディスク装置が故障している
他のフロッピーディスクで試してみてください。



フロッピーディスクに何らかの問題がある
次の手順でチェックしてください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システム
ツール]-[スキャンディスク]をクリックする
「エラーチェックをするドライブ」欄で「3.5 インチ FD
(A:)」を選ぶ
[開始] ボタンをクリックする
スキャンディスクを開始します。

フォーマットに時間がかかる



Windows では、初めてフォーマットするフロッピー
ディスクの場合、時間がかかります。

FDD/CD-ROM LED が消えない



データを処理している
大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。
LED が消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは作業を中断し、リセットスイッチ
を押して再起動してください。
再起動後、作業を行い、LED が消えない場合は、電源を切り、
お近くの保守サービスにご連絡ください。

フロッピーディスクからシステムが起動しない



起動する装置がフロッピーディスク装置に設定されていない
次の操作を行なってください。

- ・ **F** キーを押したまま、電源スイッチを押す
一時的に、起動装置をフロッピーディスク装置に変更できます。


- ・ 「Toshiba Hardware Setup」の設定を変更する

次の手順で設定を変更してください。


[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]
をダブルクリックする
[Boot Priority] タブで [Boot Priority Options] を
[FDD] が最初になるように設定する
[適用] ボタンをクリックする
[OK] ボタンをクリックする


CD-ROM 装置 / CD-RW 装置 / DVD-ROM 装置について


 CD / DVD にアクセスできない


 ディスクトレイがきちんとしまっていない
カチッと音がするまで押し込んでください。



 参照 CD / DVD のセット


 『基本編 5章 7-2 CD / DVD のセットと取り出し』

 CD / DVD がきちんとセットされていない
ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。


 ディスクトレイ内に異物がある
異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。

 CD / DVD が汚れている
汚れている場合は、乾燥した布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。

 CD-ROM 装置 / CD-RW 装置 / DVD-ROM 装置が
CD / DVD を認識していない
FDD / CD-ROM  LED が点滅している間は、まだ認識
されていません。
消灯するまで待って、再度アクセスしてください。

 CD-ROM 装置 / CD-RW 装置 / DVD-ROM 装置のレン
ズが汚れている
汚れを市販のレンズクリーナで取り除いてください。

 CD / DVD をセットしても自動的に起動しない

 自動起動に対応していない CD / DVD を挿入している
次の手順で起動してください。

デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックする
CD-ROM 装置 / CD-RW 装置 / DVD-ROM 装置のアイコン
をダブルクリックする

正しく動作するCD / DVDもあるが、動作しないCD / DVDもある

使用環境の設定が必要なCD / DVDを使用している各CD / DVDによって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『CD / DVDに付属の説明書』を読んで、それぞれのCD / DVDに合った環境を設定してください。

読み取れないCD-R、CD-RWを挿入しているCD-R、CD-RWには、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

CD / DVDが取り出せない

パソコン本体の電源が入っていない電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

パソコン本体の電源が入らないため、CD / DVDが取り出せない

CD-ROM / CD-RW / DVD-ROM装置のイジェクトホールを先の細い丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押す

PCカードについて

PCカードの挿入が認識されない

PCカードを奥までしっかり差し込むイジェクトボタンが出てくるまで差し込んでください。

PCカードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

コントローラモードが正しく設定されていない次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする

[PC Card] タブで [PC Card Controller Mode] を変更する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする



MS-DOS 上で使用しようとしている

本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS モードで PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません。



デバイスとして認識されるが使用できない



IRQ が不足している

次の手順で使用しないデバイスを使用不可にしてください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする

[デバイスマネージャ]タブで使用しないデバイスをクリックする

[プロパティ]ボタンをクリックする
デバイスのプロパティ画面が表示されます。

[全般]タブの[このハードウェア プロファイルで使用不可にする]をチェック()する

デバイスのプロパティ画面で [OK] ボタンをクリックする

[システムのプロパティ]画面で [OK] ボタンをクリックする



PC カードが正常に動作しない



PC カードの省電力機能が設定されている

次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする

[省電力設定]タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細]ボタンをクリックする

[省電力]タブで [PC カード] をクリックして表示されるメニューから「オン」をクリックする
選択されたメニューには がつきます。

[適用]ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

USB 機器について

USB 機器が使えない



正しく接続されていない
ケーブルが、パソコン本体と USB 機器に正しく接続されているかどうか確認してください。



ドライバが正しくインストールされていない
次の手順でハードウェアウィザードを実行してください。
[コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加]をダブルクリックする
[次へ]ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。



Windows を再起動する

ハイバネーションから復帰後、正常に動作しない





ハイバネーションに対応していない USB 機器を接続している
USB コネクタから 1 度はずし、再度接続してください。


7. 音量について

スピーカから音が聞こえない

スピーカから音が聞こえない

 ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある
ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。

 パソコン本体にあるボリュームダイヤルで音量を調節する


 システムスピーカが無効になっている
次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]
をダブルクリックする

[Hardware Alarm] タブで [System Beep] にチェック
をつける

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする


 タスクバーの [ボリュームコントロール] の設定が
「ミュート」になっている
次の手順で設定を変更してください。


タスクバーの [スピーカ] アイコンをクリックする

[ミュート] にチェックがついている場合は、クリックして
チェックをはずす

つまみを上下にドラッグして調整する

つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

 [ボリュームコントロール](#) ▶ 『基本編 5章 8 サウンド』

 標準のデバイスドライバが組み込まれていない
次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルク
リックする

[デバイスマネージャ]でサウンド、ビデオおよびゲームの
コントローラを正しく設定する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする



サウンドドライバがインストールされていない
「アプリケーションドライバ & CD-ROM」から再インストールしてください。



再インストール

▶「2章 5 アプリケーションを再インストールする」



標準の [優先するデバイス] が変更されている
次の手順で正しい設定に変更してください。

[コントロールパネル] を開き、[マルチメディア] をダブルクリックする

[オーディオ] タブで「再生」の「優先するデバイス」を正しく設定する

[適用] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする



サウンドレコーダーで録音した音声データの音質が悪い



録音時のサンプリング周波数が低い
次の手順で設定を変更してください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[エンターテイメント]-[サウンドレコーダー] をクリックする

[ファイル]-[プロパティ] をクリックする

[詳細] タブで [形式の変換] の [今すぐ変換] をクリックする

標準で [サウンド名] は、「ラジオの音質」に設定されています。

[属性] 欄を選ぶ

CDの音質の場合、属性は「44.100kHz、16ビット、ステレオ」です。これを目安に属性を選択してください。ただし高音質にすると、データ量が増大し、録音できる時間は短くなります。例えばマイクロホンを使用して録音するときは属性をモノラルに設定するなど、なるべくデータ容量を少なくしてください。

属性を設定し [名前を付けて保存] ボタンをクリックする
[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

[新しいファイル名] 欄に名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする

[サウンドの選択] [サウンドのプロパティ] 画面の [OK] ボタンをクリックして閉じる

サウンドレコーダーの画面に戻ったら、実際に録音して再生音をチェックしてください。



・サウンドレコーダーで新しい録音を開始すると、[サウンド名] は [ラジオの音質] に戻ります。もう一度設定し直してください。

パソコン本体からカリカリと変な音がする


ハードディスクが自動保存を行なっている
パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの内部作業が行われています。その際ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。
極端に異常な音が聞こえるなど、おかしいと思われる状態が発生するときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。

甲高い音がする

外部マイクとスピーカとでハウリングを起こしている
使用するソフトウェアによっては、この現象が起きることがあります。

次の操作を行なってください。

- ・パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調整する
- ・使用しているソフトウェアの設定を変える
- ・ボリュームコントロールの設定を調整する

 参考 ボリュームコントロール ● 『基本編 5章 8 サウンド』

パソコン本体からテレビやラジオの音が聞こえる

モジュラーケーブルがテレビ・ラジオの音を拾っている
モジュラーケーブルを延長して、パソコンと電話回線を接続している場合は、標準のモジュラーケーブルのみを使用して確認してください。また、モジュラーケーブルにノイズ除去用部品を取り付けてください。それでも解決できない場合は、電話回線自体がノイズを拾っている可能性があります。ご契約の電話会社に相談してください。

8. インターネット/メール機能について

回線が繋がらない



[ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してから、やり直してみてください。] または [ダイヤル先のコンピュータから切断されました。接続のアイコンをダブルクリックし、やり直してみてください。] と表示される



[ダイヤルアップネットワーク] の設定が間違っている次の項目の設定に間違いがあると、これらのエラーメッセージが表示され、接続できません。

- ・IP アドレス
- ・ネームサーバアドレス
- ・ダイヤルアップ時のユーザID
- ・ダイヤルアップ時のパスワード

次の手順でそれぞれの設定を確認してください。

[マイコンピュータ] をダブルクリックする

[マイコンピュータ] 画面が表示されます。

[ダイヤルアップネットワーク] をダブルクリックする

[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。

接続に使用するアイコンを右クリックし、表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする

[接続先] 画面が表示されます。

[サーバーの種類] タブで [使用できるネットワークプロトコル] の [TCP/IP 設定] をクリックする

[TCP/IP 設定] 画面が表示されます。

[IP アドレスを指定する] の設定と、[ネームサーバアドレスを指定する] の設定を確認する

設定できないIPアドレスを指定しているか、ネームサーバアドレスを指定するのを忘れていた可能性があります。IPアドレスなどの指定はプロバイダにより異なります。契約先のプロバイダに連絡し、設定状態に問題がないか確認してください。

[OK] ボタンをクリックする

[ダイヤルアップネットワーク] 画面に戻ります。


接続に使用するアイコンをダブルクリックする

[接続] 画面が表示されます。

[ユーザ名] と [パスワード] を確認する

ユーザ名などの設定内容については契約先のプロバイダに連絡し、設定に問題がないか確認してください。

[サーバーへの接続が完了しませんでした。]と表示され、回線が切断される

 「ダイヤルアップネットワーク」の設定が間違っている次の手順で設定を確認してください。

[マイコンピュータ]をダブルクリックする

[マイコンピュータ]画面が表示されます。

[ダイヤルアップネットワーク]をダブルクリックする

[ダイヤルアップネットワーク]画面が表示されます。


接続に使用するダイヤルアップアイコンを右クリックし、表示されるメニューの[プロパティ]をクリックする


[接続先]画面が表示されます。

[サーバーの種類]タブで[使用できるネットワークプロトコル]の[TCP/IP]がチェックされているか確認する

インターネット接続にはTCP/IP接続だけを使用するので、[NetBEUI]と[IPX/SPX互換]のチェックをはずしてください。

[OK]ボタンをクリックする

 [ダイヤル中] がしばらく続いた後、[ダイヤル先のコンピュータが応答しません。] と表示される

 電話番号の設定が間違っている
次の点をそれぞれ確認してください。

[ダイヤルアップネットワーク] の電話番号の設定

[マイコンピュータ] をダブルクリックする

[マイコンピュータ] 画面が表示されます。

[ダイヤルアップネットワーク] をダブルクリックする

[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。

接続に使用するダイヤルアップアイコンを右クリックし、

表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする

[接続先] 画面が表示されます。

[全般] タブで [電話番号] が正しいか確認する

変更した場合は、[適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタン

をクリックする

[ダイヤルのプロパティ] の電話番号の設定

[コントロールパネル] を開き、[モデム] をダブルクリックする

[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。


[ダイヤルのプロパティ] をクリックする


[ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。

次の点を確認する

- ・発信元の市外局番を正しく設定しているか
- ・携帯電話 / PHS を使用して通信する場合は、市外局番に 0000 (実在しない市外局番) を設定する
- ・外線発信番号に不要な数字が登録されていないか

変更した場合は [適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする

 [Microsoft ダイアルアップアダプタがインストールされていないか、または正常に応答しません。] と表示され、回線が切断される

 [ダイアルアップアダプタ] と [TCP/IP] が組み込まれていない

次の手順で追加してください。

[コントロールパネル] を開き、[ネットワーク] をダブルクリックする

[ネットワーク] 画面が表示されます。

[ネットワークの設定] タブで [現在のネットワークコンポーネント] に、次のコンポーネントが組み込まれているか確認する

- ・ダイアルアップアダプタ
- ・TCP/IP

[ダイアルアップアダプタ] または [TCP/IP] が表示されていない場合は、[追加] ボタンをクリックする

[ネットワークコンポーネントの選択] 画面が表示されます。

[ダイアルアップアダプタ] または [TCP/IP] を追加する

《TCP/IP を追加する場合》

1. [プロトコル] をクリックし、[追加] ボタンをクリックする

[ネットワークプロトコルの選択] 画面が表示されます。

2. [製造元] で [Microsoft] [インストールするネットワーク構成ファイル] で [TCP/IP] を選ぶ

《ダイアルアップアダプタを追加する場合》

1. [アダプタ] をクリックし、[追加] ボタンをクリックする

[ネットワークアダプタの選択] 画面が表示されます。

2. [製造元] で [Microsoft] [ネットワークアダプタ] で [ダイアルアップアダプタ] を選ぶ

[OK] ボタンをクリックする

[ネットワーク] 画面に戻ります。

[OK] ボタンをクリックする

メッセージに従って再起動する

発信音はしているが、呼び出し音が聞こえない 「回線が使用中です」と表示される

回線が使用されている

電話機や他のパソコンなどで、その回線を使用していないか確認してください。

ダイヤル方法の設定が間違っている

次の手順で設定を確認してください。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[ダイヤルのプロパティ]をクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[ダイヤル方法]の[トーン] / [パルス]をご使用の回線にあわせて設定する

NTTの加入回線の場合、プッシュ回線は[トーン]、ダイヤル回線は[パルス]を選んでください。

また、ISDN回線の場合は[トーン]になります。どの回線を使っているかは、明細書などNTTとの契約書類をご覧ください。

[OK]ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ]画面の[OK]ボタンをクリックする

発信音が聞こえず [発信音が聞こえません。]とエラーが表示される

電話線が繋がれていない

電話線が抜けていると上記のエラー画面が表示されます。



0 発信の回線に接続している場合の設定がされていない設定を行う前に、次のことを確認してください。

- ・ 0 発信で外線接続する回線で接続する場合、専用の受話器以外は接続できない場合があります。
- ・ 自営交換機（PBX）を介した電話回線は、直接モデム装置を接続できない場合があります。詳しくはPBX 設置業者やPBX 装置のお取り扱い元にご確認ください。

0 発信で使用する場合、次の「ダイヤルのプロパティ」と「モデムのプロパティ」の設定を行なってください。

ダイヤルのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで[ダイヤルのプロパティ]をクリックする

[ダイヤルのプロパティ]画面が表示されます。

[外線発信番号]の[市内通話/市外通話]に半角で0を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[OK]ボタンをクリックする

モデムのプロパティの設定

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

[全般]タブで該当するモデムを選択し、[プロパティ]をクリックする

[接続]タブで[接続オプション]の[トーンを待ってからダイヤルする]のチェックをはずし、[OK]ボタンをクリックする



モデム装置が故障した

落雷などの影響でモデム装置が故障した場合でも、[発信音が聞こえません]とエラーメッセージが表示されることがあります。



- ・ チェックボックスの表示が薄くなっていて選択できない場合は、[詳細]をクリックし、[追加設定]に[X3]と入力します。
- ・ [接続]タブで[詳細]をクリックした際に、[追加設定]に[&F]と書かれていると、手順 でチェックボックスをはずしても発信できなくなります。



[モデムは、ほかのダイヤルアップネットワーク
接続またはほかのプログラムが使用中です。]
と表示される



ダイヤルアップの設定で、電話番号が全角で登録されて
いる

次の手順で設定を変更してください。

[マイコンピュータ] をダブルクリックする

[マイコンピュータ] 画面が表示されます。

[ダイヤルアップネットワーク] をダブルクリックする

[ダイヤルアップネットワーク] 画面が表示されます。

接続に使用するダイヤルアップアイコンを右クリックし、
表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする

[接続先] 画面が表示されます。

[電話番号の入力] を確認する

電話番号が全角で入力されている場合は、半角で入力し直
してください。

[OK] ボタンをクリックする

内蔵モデムで K56flex サイトにうまく接続できない

内蔵モデムの通信モードを K56flex モードにする
内蔵モデムが K56flex モードである場合、AT コマンドで
K56flex を無効にして、V.34 モードで接続してください。
PBX 経由など、回線品質が NTT の回線と異なる場合は
K56flex での接続ができないことがあります。

[コントロールパネル] を開き、[モデム] をダブルクリックする

[モデムのプロパティ] 画面が表示されます。

[TOSHIBA Internal V.90 Modem] を選択し、[プロパティ] をクリックする

[TOSHIBA Internal V.90 Modem のプロパティ] 画面が表示されます。

[接続] タブで [詳細] ボタンをクリックする

[接続の詳細設定] 画面が表示されます。

[追加設定] に半角英文字で次のように入力する

- ・ K56flex モードにする場合 - V90=0 S38=1
- ・ V.34 モードにする場合 - V90=1 S38=0

[OK] ボタンをクリックする

[TOSHIBA Internal V.90 Modem のプロパティ] 画面の

[OK] ボタンをクリックする

[モデムのプロパティ] 画面の [OK] ボタンをクリックする

[追加設定] で AT コマンドの変更、追加を行なった場合、[スタート] - [Windows の終了] から再起動を行なってください。
再起動後、K56flex または V.34 モードが有効になります。

 AT コマンドについて ▶ 《オンラインマニュアル》



・ S38=1 K56flex 有効
S38=0 K56flex 無効
(V.34 モード : Max スピード
は 33,600bps になります)

Internet Explorer を使うとき



Internet Explorer 終了時に、切断の確認ダイアログボックスが出なくなった



[ダイアルアップの設定]で[接続がなくなるときの切断する]にチェックがついていない次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[インターネットオプション]をダブルクリックする

[インターネットのプロパティ]画面が表示されます。

[接続]タブで[ダイアルアップの設定]の[設定]をクリックする

[接続先設定]画面が表示されます。

[ダイアルアップの設定]の[詳細]をクリックする

[ダイアルアップの詳細]画面が表示されます。

[接続がなくなるときの切断する]をチェックする



Internet Explorer の [検索] の内容が正しく表示されない





[検索] 画面のタイトルバーを右クリックして、[最新の情報に更新] をクリックしてください。



・ツールバーの [更新] をクリックしても [検索ページ] は更新されません。

Outlook Expressを使うとき

 Outlook Express 起動時に自動的にダイヤルしたり、接続確認の画面が表示されるのをやめたい


 [オプション] で [起動時にメッセージの送受信を実行する] にチェックがついている
次の手順で設定を変更してください。


Outlook Express を起動する

メニューバーの [ツール]-[オプション] をクリックする
[オプション] 画面が表示されます。

[全般] タブで [起動時にメッセージの送受信を実行する] のチェックをはずす

[適用] をクリックし、[OK] ボタンをクリックする

 Outlook Express でメッセージ送受信後にダイヤルアップ (プロバイダ) 接続が自動切断されない

 [オプション] で [送受信が終了したら切断する] にチェックがついていない
次の手順で設定を変更してください。

Outlook Express を起動する

メニューバーの [ツール]-[オプション] をクリックする
[オプション] 画面が表示されます。

[接続] タブで [送受信が終了したら切断する] にチェックをつける

[インターネット接続の設定] の [変更] をクリックする
[OK] ボタンをクリックする

Outlook Express を再起動する



・ダイヤルアップ接続の設定は、「Internet Explorer」と共通です。

Outlook Express で送ったメールが、文字化けしているといわれた

メールの形式がHTML形式になっている
次の手順で設定をテキスト形式に変更してください。

Outlook Express を起動する

メニューバーの [ツール] - [オプション] をクリックする
[オプション] 画面が表示されます。

[送信] タブで [メール送信の形式] の [テキスト形式] を
チェックする

[適用] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする

Outlook Express で受信したメールが文字化けしている

[文字設定の割り当て] の設定が間違っている
次の手順で設定を変更してください。

Outlook Express を起動する

メニューバーから [ツール] - [オプション] をクリックする
[オプション] 画面が表示されます。

[読み取り] タブで [フォント] ボタンをクリックする

[エンコード] に [日本語 (自動選択)] があるかどうか確認する

[日本語 (自動選択)] 以外に設定されている場合は [日本語 (自動選択)] をクリックする

[OK] ボタンをクリックする

日本語 (自動選択) になっている場合は、そのまま [OK]
ボタンをクリックして画面を閉じてください。

[オプション] 画面の [OK] ボタンをクリックする

文字化けしているメールを開き、メニューバーから [表示] -
[エンコード] - [日本語 (自動選択)] をクリックする

画面が表示されたら [はい] ボタンをクリックする

受信したメールによっては画面が表示されないことがあります。

開いているメールを閉じる

[Outlook Express] 画面を閉じる

再度 Outlook Express を起動し、文字化けが直っている
か確認してください。



用語

- ・文字化け
文章が意味不明な文字の羅列で表示され、読めない状態。データのやり取りをするパソコンやアプリケーション同士の設定が異なる場合などに起こる。



- ・Outlook Express の初期設定では、HTML形式でメールを送信しますが、一部のメールソフトではHTML形式のメールに対応していません。そのため、受取人がそのメールを読めない場合があります。このような場合には、テキスト形式でメールを送信する必要があります。



メールの送信元の設定などが間違っている
送信元に設定を確認してください。



Outlook Express で添付ファイルが表示できない



クリックしている場所を間違えている
メッセージの差出人や件名が表示されているファイルのファイル名をクリックしてください。



Outlook Express で [BCC] ボックスを表示させたい



次の手順で設定を変更してください。

Outlook Express を起動する

メニューバーから [メッセージ] - [メッセージの作成] を
クリックする

[メッセージの作成] 画面が表示されます。

メニューバーから [表示] - [すべてのヘッダー] をクリッ
クする

[BCC] ボックスが表示されます。 [BCC] ボックスを非表
示にしたい場合は、再度 [表示] - [すべてのヘッダー] を
クリックしてください。



Outlook Express でメッセージの日付を指定して検索を実行すると [無効な日付の範囲が選択されました。開始日を終了日より前に選択してください。] と表示される



開始日・終了日の設定を間違えている

Outlook Express のメッセージの検索は、日付をさかのぼり
で行われます。


例えば、検索したい期間が 4 月 1 日から 4 月 10 日までの場
合は、4 月 10 日から検索をはじめ、4 月 1 日までさかのぼ
りますので、次のように入力してください。


開始 : 00/04/10


終了 : 00/04/01




・ [CC (Carbon Copy)] は、
文書の送り先以外の人に
メッセージを送信する際に
利用します。 [BCC (Blind
Carbon Copy)] も同様の
役割ですが、 [宛先] ボック
ス、 [CC] ボックスに記載さ
れた送り先はメッセージの
受信者に表示されるのに対
し、 [BCC] ボックスに記載
された送り先は [BCC] ボッ
クスで指定された人しか
表示されません。よって、他
の人には知られることなく、
メッセージを読んでもら
いたい相手がいる場合に利用
します。


 アドレス帳にメールアドレスを登録するとき、
[インターネットの電子メールアドレスは
ASCII形式でなければいけません。]という
エラーメッセージが表示された


 入力したメールアドレスに全角文字や半角カタカナが含まれている
半角英数字で入力し直してください。

 アドレス帳にメールアドレスを登録するとき、
[入力された電子メールアドレスは、有効なインターネット電子メールアドレスではありません]と表示された

 電子メールアドレスを正しい形式で入力していない
メールアドレスは半角英数字で、「XX@XX.XX」の形式で登録されます。入力に誤りがないか確認してください。

その他

 ダイヤル発信時、呼び出し音と同時に断続した
「ピー」という音が聞こえる

 発信中の端末が情報機器であることを接続先端末に知らせるサイン（コーリングトーン）です。
インターネットやパソコン通信を9600bps以上で接続する場合は問題ありませんが、接続先によっては、接続直後に回線が切断されることがあります。その場合は、次の手順で設定を変更してください。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

接続に使用するモデムをクリックし、[プロパティ]をクリックする

[接続]タブで[詳細]の[追加設定]に半角で - C0 (マイナス シー ゼロ) と入力する

[OK] ボタンをクリックする



・Windowsのモデム機能を使用せずに発信する場合、電話番号の先頭に ^ (キャレット) を追加すると、コーリングトーンを出さずに電話をかけることができます。

Internet Explorer や Outlook Express で ツールバーのボタンの文字を表示させたくない

それぞれ次の手順で設定を変更してください。

Internet Explorer の設定

Internet Explorer を起動する

メニューバーから [表示] - [ツールバー] - [ユーザー設定] をクリックする

[ツールバーの変更] 画面が表示されます。

[テキストのオプション] を [テキストラベルを表示しない] に設定し、[閉じる] ボタンをクリックする

Outlook Express の設定

Outlook Express を起動する

メニューバーから [表示] - [レイアウト] をクリックする
[ウィンドウのレイアウトのプロパティ] 画面が表示されます。

[ツールバーの変更] をクリックする

[ツールバーの変更] 画面が表示されます。

[テキストのオプション] を [ボタンに文字列を表示しない] に設定し、[閉じる] ボタンをクリックする

[ウィンドウのレイアウトのプロパティ] 画面に戻ったら

[OK] ボタンをクリックする



・手順 で [テキストラベルを表示する] に設定すると、もとの表示に戻ります。



・手順 で [ボタンに文字列を表示する] に設定すると、もとの表示に戻ります。

モデムの設定を購入時の状態に戻したい

ハイパーターミナルを利用する

次の手順で操作してください。

この操作では実際に電話発信はしませんので、モデムに電話線を接続する必要はありません。

[コントロールパネル]を開き、[モデム]をダブルクリックする

[モデムのプロパティ]画面が表示されます。

使用しているモデム名をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックする

[ポート]を確認する

ハイパーターミナルが扱えるポート番号はCOM1 ~ COM4です。ご使用のモデムがCOM5以降のポート番号に割り当てられている場合は操作できません。COM1 ~ COM4にポートを割り当て直してください。

[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[通信]-[ハイパーターミナル]をクリックする

[HyperTerminal]画面が表示されます。

[Hypertrm]をダブルクリックする

[接続の設定]画面が表示されます。

[名前]を入力し、[OK]ボタンをクリックする

[接続方法]を、モデムを割り当てているポート番号にダイレクト接続する設定にする

例えば、COM2に割り当てている場合は[COM2へのダイレクト]になります。

[COM XXへのダイレクト]を選択すると同時に、国番号/市外局番/電話番号の入力はできなくなります。

[COM XXのプロパティ]画面が表示されます。

[OK]ボタンをクリックする

ハイパーターミナルの白い画面に、AT&F&Wと入力する

Enterキーを押す

[OK]と表示されます。

[ファイル]-[ハイパーターミナルの終了]をクリックする

[切断してもよろしいですか?]と表示されたら[はい]ボタンをクリックする


[セッションXXXを保存しますか?]と表示されたら

[いいえ]ボタンをクリックする

9. 調子がおかしい!

テレビ、ラジオに障害が出る


テレビ、ラジオの調子がおかしい


 次の操作を行なってください。

- ・テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- ・テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- ・パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- ・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- ・受信機に屋外アンテナを使う
- ・平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

ハイバネーション機能が使えない

ハイバネーション機能が使えない

 ドライブCが圧縮されている
圧縮を解凍してください。

 ハイバネーション機能に対応していない周辺機器（PCカードなど）を取り付けている
周辺機器を取りはずしてください。

 周辺機器の取りはずし ▶『活用編 3章 周辺機器を使おう』

スタンバイ状態になってしまう

ハイバネーション機能の設定になっていない
次の手順でそれぞれの設定を変更してください。

- [電源の管理] プロパティで設定する
- [コントロールパネル]を開き、[電源の管理]をダブルクリックする
- [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をクリックし、チェックをつける
- [適用] ボタンをクリックする
- [OK] ボタンをクリックする
- 省電力ユーティリティで設定する
- [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
- [電源設定] タブで設定する省電力モードを選び、[詳細] ボタンをクリックする
- [動作] タブのそれぞれのメニューで [ハイバネーション] を選ぶ
- [適用] ボタンをクリックする
- [OK] ボタンをクリックする

スタートアップにハイバネーション機能の妨げになるアプリケーションが登録されている
スタートアップからアプリケーションの登録をはずし、Windows を再起動してください。

ハイバネーション用のファイルが壊れている


ハイバネーション用のファイルを作成し直す
次の手順で行なってください。


- [スタート]-[Windowsの終了]をクリックする
- [MS-DOSモードで再起動する]をクリックして、[OK] ボタンをクリックする
- MS-DOSモードで再起動されます。
- (H)(A)(L)(L)(O)(C) (Space) (C) (Enter) とキーを押す
- (E)(X)(I)(T) (Enter) とキーを押す





・[スタート]-[プログラム]-
[MS-DOSプロンプト]から
ではファイルを作成し直す
ことはできません。

パソコンの動作がおかしい


 バッテリーパックは充電したのに、すぐ Battery LED がオレンジ色に点滅する

 バッテリーパックの充電機能が低下している別売りのバッテリーパックと交換してください。

 使用中に処理が遅くなる

 CPUの温度が上がった
CPUは高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPUの温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。

 使用中に操作できなくなった

 次の操作を行なってください。

- ・電源スイッチを5秒以上押し続ける
電源が強制切断されます。この場合、保存していないデータは消失します。
- ・リセットスイッチを押す
電源が強制切断されます。この場合、保存していないデータは消失します。
- ・電源をOFFにし、**BackSpace**キーを[ハイパネーションエラー]が表示されるまで押しながら、電源スイッチを押す
メモリテストから開始されます。
- ・すべての電源を抜いて、再起動する
次の手順で行なってください。
 1. ACアダプタと電源コードをはずしてから、バッテリーをはずす
 2. バッテリーを取り付けてから、ACアダプタと電源コードを取り付ける
 3. 再度電源スイッチを押す
メモリテストから開始されます。

内蔵時計が合っていない

次の手順で [日付と時刻] を修正してください。

[コントロールパネル] を開き、[日付と時刻] をダブルクリックする

[時刻] に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする

「時：分：秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。

デジタル時計の右端にある上下のボタンで、時刻の修正を行う

[適用] または [更新] ボタンをクリックする

[OK] ボタンをクリックする

時計用バッテリーが充電されていない

AC アダプタを接続し、パソコン本体の電源を入れてしばらく時計用バッテリーを充電してください。

時計用バッテリーの充電機能が低下している

お近くの保守サービスにご連絡ください。

充電したはずのバッテリーパックを使用しても、パソコンの Battery LED がオレンジ色に点灯し、バッテリーがフル充電状態を示さない

長時間バッテリーパックを使用していなかった場合、新しいバッテリーパックと交換して充電してください。

それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

その他調子がおかしい



調子がおかしい



強制終了し、再起動してください。

次の手順で行なってください。

(Ctrl) + (Alt) + (Del)キーを押す

[プログラムの強制終了]画面が表示されます。

(Alt) + (S)キーを押す

プログラムを強制終了します。パソコンを再起動してください。

[シャットダウン]をクリックし、[OK]ボタンをクリックする



その他調子がおかしい場合



ウイルスに感染している

ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

10. 不明なメッセージが出た！

ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧になってもわからない場合、次の点をご確認ください。



「Password = 」と表示される



パスワードが設定されている

[Toshiba Hardware Setup] または [セットアッププログラム] で設定したパスワードを入力し、(Enter) キーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。

キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

パスワード、キーフロッピーディスク

▶ 『活用編 4章 3 パスワードについて』



「入力されたパスワードが間違っています」と表示される



大文字ロック状態でパスワードを入力した

(Shift) + (CapsLock 英数) キーを押して大文字ロック状態を解除し、再度入力してください。



「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE.. PRESS ANY KEY TO CONTINUE」と表示された



ハイバネーション機能が無効になったというメッセージです。

電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。



使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので...」というメッセージが表示された



ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった画面の指示に従い、[閉じる] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。この場合、データは保存されません。

次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
- 「Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」

次の操作を行なってください。

- ・システムディスクをセットし、何かキーを押す
- ・フロッピーディスク装置からフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す

「Boot sequence is changed.」と表示された

システム起動順番を変更したというメッセージです。
しばらくお待ちください。

C:¥WINDOWS>_と表示される

MS-DOS プロンプトが全画面表示されている
次の手順で、MS-DOS プロンプト画面を終了してください。

(E)(X)(I)(T)とキーを押す

(Enter)キーを押す

「KBC ERROR」が表示された

PS/2 マウス、およびPS/2 キーボードが接続されている場合は、電源を1度切り、取りはずしてから再度起動させてください。

それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障のおそれがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。

上記以外のメッセージが表示される

ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧ください。

1.1. 異常や故障の場合

Q. 異常な臭いや過熱に気づいた！

A. 電源を切り、電源コードを抜き、お近くの保守サービスにご連絡ください。

なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・ 使用している機器の名称
- ・ ご購入年月日
- ・ 現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

Q. 操作できない原因がどうしてもわからない

A. 東芝 PC ダイヤルにご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・ 使用している機器の名称
- ・ ご購入年月日
- ・ 現在の状態

3


東芝PCサービス・サポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝PCサービス・サポートのご案内』をご覧ください。

また、東芝へのユーザ登録をしていただくと、会員制インターネット情報サービス『東芝PCメンバーズクラブ』をご利用いただけます。『東芝PCメンバーズクラブ』では、ダウンロードモジュールや、「東芝PCダイヤル」に寄せられたお客様からのご質問に対するQ&A集などをご提供しております。提供しているサービスの主な内容については、本製品に同梱の『東芝PCサービス・サポートのご案内』をご覧ください。

インターネット接続の設定がしてある場合は、本製品の「東芝PCお客様登録」をご利用になると、東芝へのユーザ登録を簡単に行うことができます。

起動方法 1

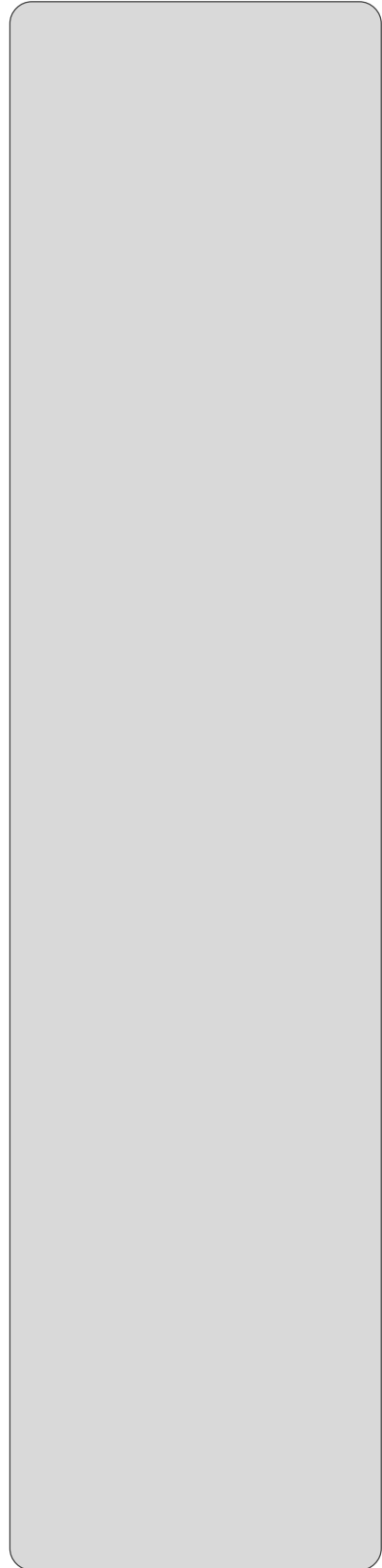
- 1 デスクトップ上の「東芝PCお客様登録」アイコン()をダブルクリックする

起動方法 2

- 1 [スタート]-[プログラム]-[東芝PCお客様登録]-[東芝PCお客様登録]をクリックする

1章

困ったときは



2 章

再セットアップ

本製品に同梱されているカスタム・リカバリ CD を使って、システムやアプリケーションをご購入時の状態に戻すことができます。
本章では、カスタム・リカバリ CD の使い方について説明します。

1	再セットアップとは	58
2	カスタム・リカバリ CD とは	59
3	標準システムを復元する	60
4	最小構成でシステムを復元する	62
5	アプリケーションを 再インストールする	64

1

再セットアップとは

同梱されているカスタム・リカバリCDを使って、システムやアプリケーションをご購入時の状態に戻す（復元する）ことを再セットアップといいます。

1. 再セットアップが必要なとき

次のようなときに、再セットアップしてください。

- パソコンが正しく動作しない
- 電源を入れても、システム（Windows）が起動しない
- Cドライブをフォーマットした
- ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった
- プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう一度インストールしたい など


2. 再セットアップする前に

「1章 困ったときは」に、いろいろなトラブル解決方法が書かれています。そちらをご覧ください。解決できないときに再セットアップしてください。

再セットアップすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。ご購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

また、インターネットやセットアップシステムなどの設定は、すべてご購入時の状態に戻ります。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

 データを保存する ▶ 『基本編 3章 4 文書を保存しよう』

 セットアップシステム ▶ 『活用編 4章 セットアップシステム』



・ Outlook Express のデータの保存は Outlook Express のエクスポート機能を使うと便利です。詳しくは、Outlook Express のヘルプをご覧ください。

本製品には次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。


Product Recovery CD-ROM
アプリケーション & ドライバ CD-ROM

カスタム・リカバリ CD は再セットアップのときに必要です。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

再セットアップには、次の方法があります。目的に合った再セットアップ方法を選んでください。

標準システムを復元する

システムをご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元します。

 詳細について ▶ 「本章 3 標準システムを復元する」


最小構成でシステムを復元する

Windows およびデバイスドライバを復元します。アプリケーションなどはインストールされません。

 詳細について ▶ 「本章 4 最小構成でシステムを復元する」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。

 詳細について ▶ 「本章 5 アプリケーションを再インストールする」



・カスタム・リカバリ CD は絶対になくさないでください。紛失した場合、再発行することはできません。

3

標準システムを復元する

本製品にプレインストールされているWindowsやアプリケーションをすべて復元し、ご購入時の状態に戻します。

1. はじめる前に

必要なもの

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書 『困ったときは』(本書)、『基本編』

Microsoft Office (*1) がプレインストールされているパソコンの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものも用意します。

Microsoft® Office 2000 Personal CD-ROM

Microsoft® / Shogakukan Bookshelf® Basic CD-ROM

準備


必要なデータを保存する

システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

 データを保存する ▶ 『基本編 3章 4 文書を保存しよう』

パソコンを購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずして、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

 周辺機器の取りはずし ▶ 『活用編 3章 周辺機器を使おう』

*1 : Microsoft® Office
2000 Personalおよび
Shogakukan Book
shelf® Basic

2. 操作手順

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 キーボードの(C)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 3 (1)キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 4 (Y)キーを押す
処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。
ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。



5 「Insert next media and press enter to continue...」
（CDを入れ替えるメッセージ）が表示された場合、次のCD
をセットし、**Enter**キーを押す

処理が続きます。



復元が完了すると、終了画面が表示されます。


6 CDを取り出し、何かキーを押す
システムが再起動します。


7 Windowsのセットアップを行う

 Windowsのセットアップ  『基本編 初めてパソコンを使うときには』

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windowsのセットアップ後に、もう一度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windowsのセットアップ後に行なってください。

 周辺機器の接続  『活用編 3章 周辺機器を使おう』

 アプリケーションのインストール

 『活用編 2章 2 アプリケーションを追加する』

Microsoft Office^{*1} のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office^{*1} は、以上の手順では復元されません。

Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージ
に同梱されているインストール手順書をご覧のうえ、復元してください。

「おしゃべり for Excel」および「おしゃべり for Word」の組み込み方法は、
「東芝音声システムヘルプ」をご覧ください。

*1 : Microsoft® Office
2000 Personalおよび
Shogakukan Book
shelf® Basic

4

最小構成でシステムを復元する

Windowsおよびデバイスドライバを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたアプリケーションなどはインストールされません。

1. はじめる前に

必要なもの

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書 『困ったときは』(本書) 『基本編』

Microsoft Office (*1) がプレインストールされているパソコンの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものも用意します。

Microsoft® Office 2000 Personal CD-ROM

Microsoft® / Shogakukan Bookshelf® Basic CD-ROM

準備


必要なデータを保存する

システムの復元を行うと、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

 データを保存する ▶ 『基本編 3章 4 文書を保存しよう』

パソコンを購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずして、パソコンをご購入時の状態に戻してください。

 周辺機器の取りはずし ▶ 『活用編 3章 周辺機器を使おう』



・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量(ご購入時のディスク使用量)が必要です。

2. 操作手順

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 キーボードの(C)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 3 (2)キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 4 (Y)キーを押す
処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。
ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

- 5** 「Insert next media and press enter to continue...」
(CD を入れ替えるメッセージ) が表示された場合、次の CD
をセットし、何かキーを押す


処理が続きます。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

- 6** CDを取り出し、**Enter**キーを押す


システムが再起動します。

- 7** Windows のセットアップを行う

 Windowsのセットアップ ●『基本編 初めてパソコンを使うときには』

ご購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう一度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、お客様ご自身で追加されたアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行なってください。

 周辺機器の接続について ●『活用編 3章 周辺機器を使おう』

 アプリケーションのインストール

●『活用編 2章 2 アプリケーションを追加する』

5

アプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。

必要なもの

アプリケーション & ドライバ CD-ROM

取扱説明書 『困ったときは』(本書) 『活用編』

1. 操作手順

1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」をセットする

「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」は、複数枚入っている場合があります。

2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

[ファイルのダウンロード]画面が表示された場合は、[このプログラムを上記の場所から実行する]を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。